学校番号	3006

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術Ⅱ（日文出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・デザイン系３年生の選択科目としている。
・生徒一人一人の美術における表現や鑑賞能力を一層高め、創造的能力や、主体的に生きる力を育成します。
・技術的に難易度を上げ、完成度の高い作品制作指導を行います。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
（２）造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きかけなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
（３）主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を 深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術 の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方深めたりしている。	・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	高校美術Ⅱについて―	【鑑賞】【絵画】【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅱ」の学習イメージを持つ。 ・教科書、道具、学習内容、評価についての理解。 ・基礎デッサン（グレースケール） ・アクリルガッシュによる色彩構成（色の３属性）	a:美術の多様な表現に関心を持ち、今後の学習や制作の意欲を高めている。 a:対象や事象を捉える造形的な 視点について理解を深めている。 b：意図に応じて鉛筆の特性をいかしている。 c：表現方法の工夫をして目的や計画を基に表現している。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート 活動の様子	・活動の様子 ・レポート
二学期	基礎デッサン・デザイン(色彩構成)	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・基本形態（石膏よる立方体、円柱、球)デッサンと合評会。 ・アクリルガッシュによる色彩構成(冷･暖の表現、対比による表現)と合評会。 ・アクリルガッシュによる色彩構成(テーマ表現)と合評会。 【デッサン】【色彩】【鑑賞】 ・木、ガラス、鉄等のデッサン。質感を重視し、複数のモチーフを組み合わせる。 ・アクリルガッシュによる色彩構成。テーマ表現	a:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。色彩感覚の幅を広げ、テーマに合った色彩構成の意味を理解している。 b:鉛筆やアクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 c: 生活社会における美術･デザインに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・活動の様子 ・相互鑑賞 ・レポート

二学期		【デザイン・工芸】【鑑賞】 ・本の制作 画用紙を張り合わせて10ページを作る。テーマは自由。表装までを完成とする。 ・	a:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 b:アピールする事物などデザインの目的、本の機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 C: 生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザイン工芸の目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・活動の様子 ・相互鑑賞 ・レポート
三学期	立体・篆刻	【工芸・陶芸】【鑑賞】 ・工芸作品制作 土(つち)粘土を素材とした器(立体)の制作 ・合評会	a: 土粘土や釉薬、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c: モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・ワークシート ・活動の様子 ・作品	・活動の様子 ・相互鑑賞 ・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度